

平成24年3月期 第2四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成23年11月11日

上場取引所 大

上場会社名 株式会社 ヨンキユウ

コード番号 9955 URL <http://www.yonkyu.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長

(氏名) 笠岡 恒三

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役

(氏名) 清水 敏雄

TEL 0895-24-0001

四半期報告書提出予定日 平成23年11月14日

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 有

四半期決算説明会開催の有無 : 有 機関投資家・アナリスト向け

(百万円未満切捨て)

1. 平成24年3月期第2四半期の連結業績(平成23年4月1日～平成23年9月30日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
24年3月期第2四半期	15,783	16.5	404	166.5	483	89.5	365	△11.1
23年3月期第2四半期	13,553	△5.1	151	—	255	—	410	—

(注) 包括利益 24年3月期第2四半期 386百万円 (6.8%) 23年3月期第2四半期 361百万円 (—%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
24年3月期第2四半期	36.71	—
23年3月期第2四半期	39.70	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
24年3月期第2四半期	21,410	17,536	81.9
23年3月期	19,513	17,229	88.3

(参考) 自己資本 24年3月期第2四半期 17,536百万円 23年3月期 17,229百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
23年3月期	—	0.00	—	8.00	8.00
24年3月期	—	0.00	—	—	—
24年3月期(予想)	—	—	—	8.00	8.00

(注) 直前に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成24年3月期の連結業績予想(平成23年4月1日～平成24年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	38,364	40.5	397	69.8	582	30.8	421	△5.3	42.34

(注) 直前に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

4. その他

- (1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有
新規 1社 (社名) 株式会社海昇、除外 1社 (社名)

(注)詳細は、添付資料P. 3 「2. サマリー情報(その他)に関する事項」をご覧ください。

- (2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

- (3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
② ①以外の会計方針の変更 : 無
③ 会計上の見積りの変更 : 無
④ 修正再表示 : 無

- (4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)

24年3月期2Q	11,556,084 株	23年3月期	11,556,084 株
----------	--------------	--------	--------------

- ② 期末自己株式数

24年3月期2Q	1,612,607 株	23年3月期	1,612,557 株
----------	-------------	--------	-------------

- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

24年3月期2Q	9,943,482 株	23年3月期2Q	10,341,504 株
----------	-------------	----------	--------------

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、金融商品取引法に基づく四半期財務諸表のレビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

(将来に関する記述等についてのご注意)

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、四半期決算短信(添付資料)「連結業績予想に関する定性的情報」をご覧ください。

(四半期決算補足説明資料及び四半期決算説明会資料の入手方法)

四半期決算補足説明資料は四半期決算短信に添付しております。

また、当社は、平成23年11月25日(金)に機関投資家・アナリスト向け説明会を開催する予定であり、この説明会で配布する資料については、開催後速やかに当社ホームページに掲載する予定です。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 連結経営成績に関する定性的情報	2
(2) 連結財政状態に関する定性的情報	2
(3) 連結業績予想に関する定性的情報	3
2. サマリー情報（その他）に関する事項	3
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	3
(2) 追加情報	3
3. 四半期連結財務諸表	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第2四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第2四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 継続企業の前提に関する注記	9
(5) セグメント情報	9
(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記	10
4. 補足情報	11
(1) 四半期決算補足説明資料	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 連結経営成績に関する定性的情報

当第2四半期連結累計期間（平成23年4月1日～平成23年9月30日）におけるわが国経済は、東日本大震災の影響により停滞していた企業活動に持ち直しの動きが見られ、また、自粛ムードの緩和から消費マインドにも改善の兆しが見られたものの、欧米経済の減速や急激な円高の進行等により、景気の先行きは不透明な状況で推移いたしました。

また、当社グループを取り巻く養殖業界におきましても、震災等による消費動向の変化や消費自粛の影響により消費が伸び悩むなど、経営環境は依然として厳しい状況が続いております。

このような状況のなか、当社グループでは、主たる事業を同じくする株式会社海昇を子会社化するなど、経営基盤の強化と収益改善に取り組みました。

その結果、当第2四半期連結累計期間では、子会社化した株式会社海昇の業績（平成23年7月1日から平成23年9月30日までの3ヶ月間の業績）が含まれていることもあり、増収増益となっております。

また、今回の子会社化により「鮮魚の販売事業」及び「餌料・飼料の販売事業」共に販売数量が増加し、利益率も改善いたしました。

その結果、当第2四半期連結累計期間において、ハマチの魚価低下により販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額2億34百万円（前第2四半期連結累計期間は貸倒引当金繰入額なし）を計上いたしました。両事業での利益率の改善と株式会社海昇を連結したことにより、営業利益及び経常利益は増益となりました。

しかし、四半期純利益は前第2四半期連結累計期間において特別利益に貸倒引当金戻入額1億93百万円を計上していたことにより減益となっております。

以上の結果、当第2四半期連結累計期間の売上高は157億83百万円（前年同期比16.5%増）、営業利益は4億4百万円（前年同期比166.5%増）、経常利益は4億83百万円（前年同期比89.5%増）、四半期純利益は3億65百万円（前年同期比11.1%減）となりました。

なお、上述の通り当社グループの連結業績は魚価の変動が大きく影響する貸倒引当金の増減により、各決算期毎に業績比較を行った場合に著しい差異が生じる可能性があり、当社グループ本来の営業実績を正確にご理解いただくことが難しい状況となっております。そのため、投資者の皆様への参考資料として各年度毎に貸倒引当金繰入額、同戻入額の影響を除いた実績を補足資料として作成しておりますので、P.11「4. 補足情報」をご参照下さい。

セグメントの業績は以下のとおりであります。

区分	平成23年3月期 第2四半期累計 金額（百万円）	平成24年3月期 第2四半期累計 金額（百万円）	対前年同期比較	
			金額差異 （百万円）	増減率 （%）
鮮魚の販売事業	9,626	10,494	867	9.0
餌料・飼料の販売事業	3,820	5,202	1,381	36.2
その他の事業	106	86	△19	△18.8
合計	13,553	15,783	2,229	16.5

（注）セグメント間の取引については、相殺消去しております。

(2) 連結財政状態に関する定性的情報

① 資産、負債及び純資産の状況

（資産）

当第2四半期連結会計期間末における総資産は214億10百万円となり、前連結会計年度末に比べ18億96百万円増加いたしました。その主な要因は、株式会社海昇の子会社化によるものであります。

流動資産合計は180億61百万円となり、前連結会計年度末に比べ13億41百万円増加いたしました。これは主に債権回収等により短期貸付金が4億13百万円減少いたしました。一方で、受取手形及び売掛金が19億94百万円増加したことによるものであります。

固定資産合計は33億49百万円となり、前連結会計年度末に比べ5億54百万円増加いたしました。これも株式会社海昇の子会社化によるのれん4億45百万円の計上や有形固定資産が1億68百万円増加したことによるものであります。

(負債)

当第2四半期連結会計期間末における負債合計は38億73百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億89百万円増加いたしました。その主な要因は、前述と同様に株式会社海昇の子会社化によるものであります。

流動負債合計は33億88百万円となり、前連結会計年度末に比べ15億94百万円増加いたしました。これは主に支払手形及び買掛金が13億77百万円増加したことによるものであります。

固定負債合計は4億85百万円となり、前連結会計年度末に比べ4百万円減少いたしました。

(純資産)

当第2四半期連結会計期間末における純資産合計は175億36百万円となり、前連結会計年度末に比べ3億7百万円増加いたしました。これは主に利益剰余金が2億85百万円増加したことによるものであります。

この結果、自己資本比率は81.9%（前連結会計年度末は88.3%）となりました。

② キャッシュ・フローの状況

当第2四半期連結累計期間における現金及び現金同等物（以下「資金」という。）は、45億84百万円となり、前年同期に比べ14億4百万円減少いたしました。

当第2四半期連結累計期間における各キャッシュ・フローの状況とそれらの要因は、次のとおりであります。

(営業活動によるキャッシュ・フロー)

営業活動の結果得られた資金は7億80百万円（前年同期比7.2%増）となり、これは主に税金等調整前四半期純利益の計上（5億1百万円）及び貸倒引当金の増加（2億26百万円）等によるものであります。

(投資活動によるキャッシュ・フロー)

投資活動の結果使用した資金は18億80百万円（前年同期は60百万円の収入）となり、これは主に定期預金の増加（10億円）及び株式会社海昇へのみなし取得日前の貸付けによる支出（10億円）等によるものであります。

(財務活動によるキャッシュ・フロー)

財務活動の結果使用した資金は79百万円（前年同期比66.3%減）となり、これは主に配当金の支払い（79百万円）によるものであります。

(3) 連結業績予想に関する定性的情報

第1四半期連結会計期間において、販売費及び一般管理費に貸倒引当金繰入額2億39百万円の計上（連結業績予想上は、12月末時点で貸倒引当金繰入額3億円を見込む）による期間損益のズレから各利益は乖離した状況にありましたが、当第2四半期連結累計期間では、株式会社海昇の子会社化による相乗効果により利益率が改善（貸倒引当金繰入額2億39百万円を吸収）し、ほぼ計画どおりの推移となっております。

2. サマリー情報（その他）に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

第1四半期連結会計期間より、全株式を取得し子会社化した株式会社海昇を連結の範囲に含めております。

なお、みなし取得日が平成23年6月30日であるため、当第2四半期連結累計期間における株式会社海昇の業績は、平成23年7月1日から平成23年9月30日までの3ヶ月間を連結しております。

(2) 追加情報

(会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準等の適用)

第1四半期連結会計期間の期首以後に行われる会計上の変更及び過去の誤謬の訂正により、「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準」（企業会計基準第24号 平成21年12月4日）及び「会計上の変更及び誤謬の訂正に関する会計基準の適用指針」（企業会計基準適用指針第24号 平成21年12月4日）を適用しております。

3. 四半期連結財務諸表
 (1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	11,682,861	11,525,669
受取手形及び売掛金	3,910,602	5,905,020
有価証券	100,662	201,326
商品及び製品	336,212	410,953
仕掛品	108,602	51,680
貯蔵品	10,665	10,136
短期貸付金	1,369,012	955,455
その他	39,847	69,233
貸倒引当金	△839,217	△1,068,381
流動資産合計	16,719,248	18,061,093
固定資産		
有形固定資産	1,734,201	1,902,459
無形固定資産		
のれん	—	445,319
その他	3,159	2,538
無形固定資産合計	3,159	447,858
投資その他の資産		
その他	1,489,600	1,431,521
貸倒引当金	△432,529	△432,529
投資その他の資産合計	1,057,071	998,992
固定資産合計	2,794,431	3,349,311
資産合計	19,513,680	21,410,404
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	1,426,736	2,804,589
未払法人税等	34,755	224,055
賞与引当金	15,051	16,623
その他	317,709	343,302
流動負債合計	1,794,252	3,388,569
固定負債		
退職給付引当金	140,621	144,342
役員退職慰労引当金	349,042	333,334
その他	—	7,372
固定負債合計	489,664	485,048
負債合計	2,283,917	3,873,618

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成23年3月31日)	当第2四半期連結会計期間 (平成23年9月30日)
純資産の部		
株主資本		
資本金	2,187,615	2,187,615
資本剰余金	2,521,825	2,521,825
利益剰余金	13,315,383	13,600,889
自己株式	△778,391	△778,414
株主資本合計	17,246,431	17,531,914
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	△16,694	4,871
その他の包括利益累計額合計	△16,694	4,871
少数株主持分	26	—
純資産合計	17,229,763	17,536,785
負債純資産合計	19,513,680	21,410,404

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書
(四半期連結損益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
売上高	13,553,501	15,783,271
売上原価	12,109,842	13,690,941
売上総利益	1,443,658	2,092,329
販売費及び一般管理費	1,291,858	1,687,844
営業利益	151,800	404,485
営業外収益		
受取利息	62,002	53,152
受取配当金	2,814	3,159
投資不動産賃貸料	32,971	23,287
その他	31,006	30,846
営業外収益合計	128,795	110,446
営業外費用		
投資不動産賃貸費用	12,261	12,045
投資事業組合運用損	8,815	10,726
為替差損	4,090	7,528
その他	391	1,311
営業外費用合計	25,558	31,612
経常利益	255,036	483,319
特別利益		
固定資産売却益	612	408
貸倒引当金戻入額	193,197	—
受取和解金	—	17,500
特別利益合計	193,810	17,908
特別損失		
固定資産除却損	191	140
投資有価証券評価損	28,812	—
特別損失合計	29,003	140
税金等調整前四半期純利益	419,843	501,087
法人税、住民税及び事業税	9,296	144,809
法人税等調整額	—	△8,748
法人税等合計	9,296	136,060
少数株主損益調整前四半期純利益	410,547	365,027
少数株主損失(△)	△10	△26
四半期純利益	410,557	365,053

(四半期連結包括利益計算書)
(第2四半期連結累計期間)

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自平成22年4月1日 至平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自平成23年4月1日 至平成23年9月30日)
少数株主損益調整前四半期純利益	410,547	365,027
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△48,569	21,566
その他の包括利益合計	△48,569	21,566
四半期包括利益	361,977	386,593
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	361,987	386,620
少数株主に係る四半期包括利益	△10	△26

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：千円)

	前第2四半期連結累計期間 (自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日)	当第2四半期連結累計期間 (自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	419,843	501,087
減価償却費	62,216	63,450
のれん償却額	—	23,437
退職給付引当金の増減額 (△は減少)	3,237	3,720
役員退職慰労引当金の増減額 (△は減少)	△3,144	△15,708
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△2,375	1,572
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	△551,372	226,723
受取利息及び受取配当金	△64,817	△56,312
固定資産売却損益 (△は益)	△612	△408
固定資産除却損	191	140
投資有価証券評価損益 (△は益)	28,812	—
投資不動産賃貸収入	△32,971	△23,287
投資不動産賃貸費用	12,261	12,045
売上債権の増減額 (△は増加)	281,019	△450,579
たな卸資産の増減額 (△は増加)	236,019	147,041
仕入債務の増減額 (△は減少)	316,586	430,752
未払消費税等の増減額 (△は減少)	41,532	11,242
その他	△98,152	△126,757
小計	648,274	748,161
利息及び配当金の受取額	50,085	44,292
法人税等の支払額又は還付額 (△は支払)	29,651	△12,105
営業活動によるキャッシュ・フロー	728,011	780,348
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の増減額 (△は増加)	△700	△1,000,014
有価証券の償還による収入	100,000	—
投資有価証券の取得による支出	△3,723	△4,421
有形固定資産の取得による支出	△128,451	△102,407
有形固定資産の売却による収入	952	476
投資不動産の賃貸による収入	32,971	23,287
投資不動産の賃貸による支出	△6,268	△6,446
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△25,503
貸付けによる支出	△235,497	△1,507,359
貸付金の回収による収入	276,750	731,897
その他	24,758	9,811
投資活動によるキャッシュ・フロー	60,789	△1,880,679
財務活動によるキャッシュ・フロー		
自己株式の取得による支出	△152,593	△22
自己株式の売却による収入	25	—
配当金の支払額	△83,208	△79,391
財務活動によるキャッシュ・フロー	△235,777	△79,414
現金及び現金同等物に係る換算差額	△4,097	△7,524
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	548,925	△1,187,270
現金及び現金同等物の期首残高	5,440,543	5,771,861
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,989,469	4,584,591

(4) 継続企業の前提に関する注記

該当事項はありません。

(5) セグメント情報

I 前第2四半期連結累計期間（自 平成22年4月1日 至 平成22年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	9,626,488	3,820,924	13,447,412	106,089	13,553,501	—	13,553,501
セグメント間の内部 売上高又は振替高	3,833	65,632	69,466	95,162	164,628	△164,628	—
計	9,630,321	3,886,557	13,516,878	201,252	13,718,130	△164,628	13,553,501
セグメント利益又は 損失 (△)	△263,474	409,375	145,901	△3,144	142,757	9,042	151,800

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント利益の調整額9,042千円には、セグメント間取引消去における内部利益△872千円及びその他の調整額9,915千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失 (△) は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

2. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

固定資産に係る重要な減損損失の認識、のれんの金額の重要な変動、重要な負ののれん発生益の認識はありません。

II 当第2四半期連結累計期間（自 平成23年4月1日 至 平成23年9月30日）

1. 報告セグメントごとの売上高、利益又は損失の金額に関する情報

（単位：千円）

	報告セグメント			その他 (注) 1	合計	調整額 (注) 2	四半期連結 損益計算書 計上額 (注) 3
	鮮魚の販売 事業	餌料・飼料 の販売事業	計				
売上高							
外部顧客への売上高	10,494,356	5,202,741	15,697,097	86,174	15,783,271	—	15,783,271
セグメント間の内部 売上高又は振替高	5,225	66,095	71,320	98,973	170,294	△170,294	—
計	10,499,581	5,268,836	15,768,418	185,147	15,953,565	△170,294	15,783,271
セグメント利益又は 損失（△）	△10,902	442,789	431,886	△9,517	422,368	△17,883	404,485

（注）1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、連結子会社の事業（一般貨物運送事業及びマグロ養殖事業）であります。

2. セグメント利益の調整額△17,883千円には、セグメント間取引消去における内部利益△1,232千円、のれん償却額△23,437千円及びその他の調整額6,786千円が含まれております。

3. セグメント利益又は損失（△）は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 上記の金額には、消費税等は含まれておりません。

5. 前連結会計年度の末日に比べて、当第2四半期連結会計期間末の報告セグメントごとの資産の金額が著しく変動しております。その概要については、株式会社海昇の全株式取得による子会社化に伴うものであり、その影響額は、鮮魚の販売事業で305,728千円、餌料・飼料の販売事業で1,632,205千円及び調整額で1,535,995千円がそれぞれ増加しております。

2. 報告セグメントの変更等に関する事項

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる報告セグメントの変更等はありません。

3. 報告セグメントごとの固定資産の減損損失又はのれん等に関する情報

（固定資産に係る重要な減損損失）

該当事項はありません。

（のれんの金額の重要な変動）

第1四半期連結会計期間において、株式会社海昇を子会社化いたしました。これによる当第2四半期連結累計期間ののれんの金額は445,319千円であります。なお、当該金額は報告セグメントに属さない全社資産（調整額）に含めております。

（重要な負ののれん発生益）

該当事項はありません。

(6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記

該当事項はありません。

4. 補足情報

(1) 四半期決算補足説明資料

ここ最近の当社グループの連結業績は、魚価の変動が大きく影響する貸倒引当金の増減による業績への影響が大きくなっております。そのため、各決算期毎に業績比較を行った場合に著しい差異が生じる可能性があり、当社グループ本来の営業実績を正確にご理解いただくことが難しい状況となっております。そのため、各年度毎に貸倒引当金繰入額、同戻入額の影響を除いた実績を補足資料として作成しております。

1. 貸倒引当金の影響を除いた連結業績比較（対前年同期比較）

（単位：千円）

第2四半期累計	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	摘要
平成24年3月期（今期実績）	15,783,271	638,609	717,443	599,177	貸倒引当金繰入額 234,123 千円
平成23年3月期（前期実績）	13,553,501	151,800	255,036	217,359	貸倒引当金戻入額 193,197 千円
増減額	2,229,770	486,808	462,406	381,818	
増減率（%）	16.5	320.7	181.3	175.7	

- （注） 1. 平成23年6月14日付で株式会社海昇の全株式を取得し、子会社化いたしました。その結果、今期実績には株式会社海昇の平成23年7月1日から平成23年9月30日までの3ヶ月間の業績が含まれております。
2. 平成24年3月期（今期実績）の調整は、販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金繰入額 234,123千円を除外したことにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ同額増加しております。
3. 平成23年3月期（前期実績）の調整は、特別利益に計上している貸倒引当金戻入額 193,197千円を除外したことにより、四半期純利益が同額減少しております。

2. 貸倒引当金の影響を除いた連結業績比較（対今期計画比較）

（単位：千円）

第2四半期累計	売上高	営業利益	経常利益	四半期純利益	摘要
平成24年3月期（今期実績）	15,783,271	638,609	717,443	599,177	貸倒引当金繰入額 234,123 千円
平成24年3月期（今期計画）	16,181,000	408,000	502,000	392,000	貸倒引当金繰入額 — 千円
増減額	△397,728	230,609	215,443	207,177	
増減率（%）	△2.5	56.5	42.9	52.9	

- （注） 1. 平成23年6月14日付で株式会社海昇の全株式を取得し、子会社化いたしました。その結果、今期の実績及び計画には株式会社海昇の平成23年7月1日から平成23年9月30日までの3ヶ月間の各数字が含まれております。
2. 平成24年3月期（今期実績）の調整は、販売費及び一般管理費に計上している貸倒引当金繰入額 234,123千円を除外したことにより、営業利益、経常利益及び四半期純利益がそれぞれ同額増加しております。
3. 平成24年3月期（今期計画）には、貸倒引当金繰入額の計上はありません。